

市内の発掘調査①

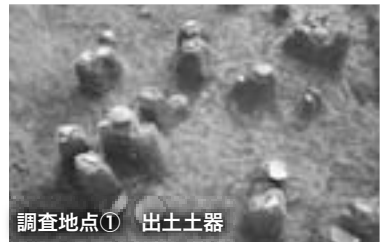
近年、市内では水子地域や諏訪地域での開発が進み、遺跡の発掘調査件数も増加傾向にあります。市内の発掘調査で、どのようなものが見られているかご紹介します。

【氷川前遺跡】

水子貝塚公園周辺から西側に広がる遺跡で、これまで縄文時代から平安時代にかけての住居跡など、先人たちのこん跡が多数確認されています。平成24年度には氷川前遺跡の4か所で調査が行われ、そのうち3か所で遺構が確認され記録を保存するための発掘調査が行われました。

調査地点①

氷川前遺跡の西端で、富士見江川の支流により削られた谷を前方に臨む斜面地です。発掘調査を行った結果、縄文時代の炉穴、平安時代（9世紀後半）



調査地点① 出土土器

10世紀初頭ごろの住居跡12軒、掘立柱建物跡、地下式坑（縦に掘り下げた地下室）、段切遺構（斜面地での土地造成の跡）、階段状遺構など多くの遺構が発見されました。平成7年と9年に行われた本地点の両側に広がる斜面地での調査でも、多数の遺構が確認されており、特に平安時代の住居跡は、今回のものと含めると27軒になります。大規模な平安集落が広がっていたことがうかがえますが、平坦な台地上でなく急こう配の斜面地にわざわざ築いたのはなぜなのでしょう。今後の調査で、判明していくことができればと考えています。

調査地点②

水子貝塚公園の東側隣地で、平安時代住居跡2軒が確認されました。同じ氷川前遺跡内ですが、その東端にあたり、①で確認できた集落とは異なる集落と考えられます。住居跡からは土師器や須恵器のほかに鉄製の手斧が出土しました。問合せ／生涯学習課 ☎637



調査地点①



調査地点② 出土した手斧

民生委員

地域が主役のまちづくり

地域サポーターの紹介

福祉課 ☎334



吉田 京子さん

関沢在住

富士見市民生委員・児童委員協議会連合会会長

あたたかな地域社会を目指して

今年も春の民生委員・児童委員活動強化週間で、「こんにちは！民生委員です」とひとり暮らしの高齢者宅などを訪問させていただきました。しかしながら、なかなか活動を理解していただけないのが実感です。福祉に対する昔ながらの概念があったり、個人的なことだからとの思いがあったり、最近では個人情報への厚さがあったりします。それでも、何度か訪問していくうちに親しくお話ができるようになり、福祉課など関係機関への橋渡しができたときには、ホッと胸をなでおろします。

最近、力を入れて活動していることの一つに、「災害時一人も見逃さない運動」があります。この

運動は、地域の皆さんの協力を得ながらネットワークを構築し、災害時に地域で支援を必要としている人を見逃さないためのものです。現在、要援護者台帳の整備や災害福祉マップの作成などを行っています。また、市の事業の「災害時要援護者登録制度」への協力なども行い、誰もが安心できる地域社会を築いていきたいと、切に願っています。

そのほか、学校や保育園などと交流し、子育ての仲間づくりなどをお手伝いしています。

私たちの活動は、あたたかな地域社会づくりを目指してのボランティア活動です。また、守秘義務がありますので、日常生活の支援や相談など、地域の民生委員に気軽に声を掛けください。



富士見ふるさと祭りでの民生委員のPR活動